

令和4年度研究成果に関する外部有識者意見聴取の結果について

令和5年（2023年）4月24日
山口県農林総合技術センター

1 目的

研究成果の公表にあたり、現場での活用可能性、新規性、フォローアップや確認試験の必要性について外部有識者から幅広い視点や専門的な観点から意見を聴き、意見を踏まえた対応方向等今後の研究開発に活かす。

2 対象課題

令和4年度にセンター内部の完了評価を受けた単県研究課題

3 外部有識者の選定

1課題4名の外部有識者を次の①～④の区分から1名ずつ選定し、別添の調査票により令和5年2月に意見を聴取した。

① 学識経験者：国立大学法人 山口大学、公立大学法人 山口県立大学

② 他の研究機関：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター、

③ 農業関係団体：山口県農業協同組合、公益財団法人やまぐち農林振興公社

④ 消費者団体：山口県地域消費者団体連絡協議会

4 結果

No.	課題名	総合評価 ^{*2}	評価内訳 ^{*1} (人)		
			A	B	C
R04-01	山口県における新規就農者（自営就農者）の就農実態、課題の解明	十分な成果が得られた	3	1	0
R04-02	機能性表示食品に向けた県産農産物の評価と食品素材の開発	一定の成果が得られた	1	2	1
R04-03	新たな飼料用米として利用できる主食用品種の選定と省力・低コスト・多収栽培技術の確立	十分な成果が得られた	4	0	0
R04-04	共同育種によるイチゴ次世代新品種の育成	一定の成果が得られた	2	2	0
R04-05	ICTを活用した山口県オリジナル品種の出荷予測技術の開発（はなっこりーの出荷予測）	十分な成果が得られた	3	1	0
R04-06	イチゴ・トマト栽培におけるUECS「農の匠」モデルのパッケージ化	十分な成果が得られた	3	1	0
R04-07	ドローンによる病害虫の早期発見技術及び防除技術の確立（レンコン腐敗病対策）	一定の成果が得られた	1	3	0
R04-08	せとみ（ゆめほっぺ）の生産拡大に向けた熟期促進技術の開発	一定の成果が得られた	2	2	0
R04-09	「南津海（なつみ）シードレス」の施設栽培拡大に向けた栽培技術の確立	一定の成果が得られた	2	2	0
R04-10	ICTを活用した山口県オリジナル品種の出荷予測技術の開発（ユリ、リンドウの開花予測技術の開発）	十分な成果が得られた	3	1	0

※1 評価基準

A：山口県の生産・流通・加工等の生産現場で活用可能性が高い。

B：生産現場での確認等の普及支援を行うことにより現場で活用が可能。

C：追試や確認試験が不可欠・現場で活用可能性が低い。

※2 総合評価

Aが過半数の場合：十分な成果が得られた。

AとBを合計が過半数：一定の成果が得られた。

上記以外：成果が得られなかった。

※3 その他寄せられた主な意見等は別紙参照

5 その他

当センターホームページを通じて令和5年4月3日から令和5年4月21日までの間、一般県民から対象課題に関する意見募集を実施し、寄せられた意見は0件であった。

(別添)